

EAP カリキュラム 質保証指標モデル

1. 大学内での EAP 担当部門の位置付けと運営体制

1.1 EAP 部門代表・運営担当者と、大学の運営組織（学科、学部、関連部署など）との間に、効果的なコミュニケーションと支援の連携ラインがあること。

- EAP 部門の大学内での役割と位置付けを示す情報（図表や説明文など）を共有している。
- EAP 部門のハンドブックを作成し、関連部署と共有している。
- EAP 部門を紹介するホームページやパンフレットを公開・配布している。
- 英語カリキュラム運営に関する定例会議があり、EAP 部門の教員と学生の所属学科・学部の教員が参加している。
- 英語カリキュラム運営に関する定例会議があり、EAP 部門の教員と関連部署（教務課、授業支援課、図書館など）の職員が参加している。
- 関連部署（教務、授業支援など）の定例会議に、EAP 部門の教員が構成員として参加している。
- 英語教員が学科・学部にも所属しているため、コミュニケーションと支援の連携が取れる。

1.2 EAP 部門代表・運営担当者が、学生の所属学科・学部の学術的文化と学習活動（授業や課題の形式や内容）を理解するために、学科・学部との関係を築いていること。

- 会議で、EAP 部門の代表・運営担当者が、学生の所属学科・学部の教員と定期的に情報交換をしている。
- EAP 部門の代表・運営担当者が、所属学科・学部での学習について、学生に聞き取りをしている。

1.3 EAP 部門代表・運営担当者が、図書館、コンピュータ・サービス、ライティングセンターなど、大学の関連部署と積極的な関係を築いていること。

- 関連部署の定例会議に、EAP 部門代表者・運営担当者が参加している。
- 必要に応じて、EAP 部門代表者・運営担当者は関連部署と情報交換をしている（メールなど）。
- EAP 部門のハンドブックを関連部署と共有している。

1.4 教員採用の手順は、学内の慣行に沿って行われ、EAP の指導能力についてなんらかの基準に基づいて判断していること。

- 大学での指導経験
- EAP の指導経験
- EAP の指導に関する研修や受講（例：英国の TEAP コース修了証など）
- 英語での研究論文の業績
- 英語での学会発表の経験
- 非英語母語話者教員採用の場合、海外の大学や大学院での留学経験
- 非英語母語話者教員採用の場合、TOEFL や IELTS など、学術的な英語テストのスコア
- 非日本語母語話者教員採用の場合、日本語能力試験の認定
- 採用審査時に提出してもらう授業計画
- 採用審査時の模擬授業
- 採用審査時の面接内容

1.5 EAP 部門の教員には、学内の慣行に沿って、Professional Development（職能開発）の機会があること。

- 専任の英語教員を対象とした、研修や勉強会などを定期的に開催している。
- 非常勤英語教員を対象とした、研修や勉強会などを定期的に開催している。
- 英語教員間で、学内外での EAP に関する情報（学会や講演会の案内など）を共有している。

1.6 EAP 部門の教員が、授業の準備、採点、関連業務の遂行、および同僚教員とのコミュニケーションのために適切なオフィススペースまたはスタッフルームを使用すること。

- 講師室や準備室がある。
- 教材やリソースを閲覧できる部屋がある。

1.7 事務的作業、および EAP 部門の運営、学生対応、教材、資料などに関して対応する、十分な数の職員が採用されていること。

- EAP 部門の専任職員がいる（助手を含む。）。
- 学内の関連部署（教務課や授業支援課など）に EAP 部門も兼任する職員がいる。